

## 令和7年度 あらやこども園 自己評価 結果

A: そう思う B: おおむねそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない ○をつけてください。

判定の基準(平均点) A: 3.5点以上 B: 2.5点～3.5点未満 C: 1.5点～2.5点未満 D: 1.5点未満

分野	番号	評価項目	今年度		R6	R5	R4
			平均点	判定	判定	判定	判定
教育方針	1	あらやこども園の教育目標を理解している	3.06	B	B	B	B
	2	園の教育目標を達成するための保育ができています	3.00	B	B	B	B
健康	3	子どもがのびのびと行動し、充実感が味わえるように工夫している	3.21	B	B	B	B
	4	子どもが進んで戸外での活動を楽しむ配慮や工夫がされている	3.35	B	A	B	A
	5	子どもが様々な遊びの中で、十分に体を動かすことができるよう、援助や働きかけを行っている	3.32	B	A	A	A
	6	健康や安全な生活に対して、必要な習慣や態度を身につける工夫をしている	3.50	A	B	B	B
人間関係	7	子どもが自分で行動することの充実感を味わえるような援助を行っている	3.38	B	B	B	B
	8	相手の思いや気持ちに気づいていけるような援助や機会を設けている	3.39	B	B	B	B
	9	園生活における望ましい習慣や態度を身につけるための援助や指導を行っている	3.36	B	A	B	B
	10	地域の人との交わりや、友だちに対して愛情や信頼感を持てるよう工夫している	3.23	B	B	B	B
環境	11	身近な環境に親しみ、様々な事象に関心が持てるよう工夫している	3.35	B	B	B	B
	12	遊びや生活の中で数量や文字、図形などに関心を持つよう工夫している	3.00	B	B	B	B
	13	子どもが自発的に活動したり、遊んだりできる環境を整備している	3.31	B	B	B	B
	14	子どもの遊びや活動が発展するヒントとなる工夫や配慮をしている	3.25	B	B	B	B
言葉	15	子どもが自分の気持ちを、その子なりに表現した時、それを受け止めている	3.53	A	A	B	A
	16	毎日、子どもとの会話の時間を設けている	3.57	A	A	B	A
	17	子ども同士が話し合えるよう、工夫している	3.15	B	B	B	B
	18	子ども自身があいさつの意味を知り、進んであいさつをしている	3.21	B	B	B	B
	19	遊びや生活の中から出てきた言葉やアイデアが保育の中に生かされている	3.22	B	B	B	B
	20	絵本、紙芝居、素話など、工夫して積極的に取り入れている	3.15	B	B	B	B
表現	21	子どもの表現しようとする意欲を受け止め、子どもが様々な表現を楽しむことができるよう配慮している	3.39	B	B	B	B
	22	様々な音、色、手触り、動きに気づいたり、楽しんだりできるよう、工夫している	3.22	B	B	B	B
	23	子どもが自由に音や、動きで表現する機会が設けている	3.04	B	B	B	B
	24	身体を使った表現遊びを取り入れている	2.96	B	B	B	B
	25	子どもの作品などが工夫して飾られるなど、丁寧に扱っている	3.41	B	A	B	B
研修	26	積極的に研修に参加し、保育者として、資質の向上を目指している	3.11	B	B	B	B
	27	専門書を読むなど、自ら努力し、保育に生かしている	2.68	B	B	B	B
	28	研修会に参加したことを、職員間で共有している	3.04	B	B	B	B
家庭等との連携	29	子どもの様子や育ち、保育などを、保護者にわかりやすく伝える工夫をしている	3.23	B	B	B	B
	30	保護者と子どもの様子を情報交換し、子どもの望ましい発達を促すための連携が取れている	3.32	B	B	B	B
	31	小学校との連携を取り、就学に関する情報を家庭に提供している	2.73	B	B	B	B
安全衛生管理	32	室内や園庭の安全に注意し、定期的に点検改善を行っている	3.32	B	B	B	B
	33	緊急事態に対する整備ができ、対応できるようにしている。	3.11	B	B	B	B
	34	薬や薬品等の取り扱いには、十分配慮している	3.33	B	A	A	B
	35	園庭は常に「整備され、室内は清潔で、整理整頓が行き届いている	3.37	B	B	B	B
食育	36	食に関心を持たせるよう、献立や食事環境を工夫している	3.20	B	B	B	B
	37	無理に食べさせるのではなく、おいしく食事する配慮をしている	3.35	B	A	B	B
	38	野菜を育てたり、地域の人との交流をしたりして、興味関心を持たせている	3.12	B	B	B	B
人権の配慮	39	子どもの人権を十分配慮した保育を実施している	3.52	A	A	B	B
	40	子どもの虐待防止に積極的に関わり、地域と連携している	3.21	B	B	B	B
	41	職員同士尊重し合い、パワハラ行為の防止に努めている	3.14	B	B	B	B
	42	プライバシーに配慮した園運営をしている	3.41	B	B	B	B
学級経営	43	保育室は、整理整頓が行き届き、安全に配慮している	3.31	B	A	B	B
	44	個々の子どもの心身の状態を把握し、配慮しながら保育をしている	3.52	A	A	A	B
	45	園からの配布物やメール配信は、決められた期日に配布している	3.52	A	A	A	A

<考察>

- すべての項目でA又はB判定であり、概ね各分野でよい評価とします。  
ただ、前年度がA判定であったが今年度はB判定となった項目が7項目あり、8年度においては引き続き、自分自身の更なる改善に向けて努力が必要と考えます。

A	6	12	4	5
B	39	33	41	40
C	-	-	-	-
D	-	-	-	-
計	45	45	45	45

2. 各年度を通しB評価が続いている項目の中でも改善が必要と思われるのが次の2点と考えます。

① No.18「子供自身があいさつの意味を知り、進んであいさつをしている」

登園時に玄関で挨拶を行っています。元気な返事が返ってくることもありますが、はにかんで通り過ぎるだけの子もいます。挨拶の仕方やタイミング等もあるかもしれませんが、登園時の挨拶は今後もより一層アプローチしていく必要があると考えます。更には子ども達に見られている事を知り、職員同士は勿論、子ども達の保護者様に対してもコミュニケーションの一環として一層アプローチしていく必要があると考えます。

② No.27「専門書を読むなど、自ら努力し、保育に生かしている。」

昨年と同様に引き続き、専門書を読む機会・時間の確保や専門書の紹介などについて園から働きかけたいと思います。なお、園では定期的に、講師の先生をお呼びし専門書を活用するなどの勉強会や、職員間で話し合いをするなど、職員の資質向上を図っています。